

# 公益社団法人 神奈川県鍼灸師会 理事会(平成 30 年度第5回)

## 議 事 録

【日時】平成 31 年 3 月 3 日(日)18:00~20:10

【会場】神奈川県鍼灸師会 事務所

【次第】1、会長挨拶 2、出席確認 3、署名人指名 4、議事 5、閉会の辞

【出席11名】理 事:秦、藤田、栗田、萱間、草山、小泉、清水、長野、林

監 事:森下、日野

事務局:無し

【欠席 1名】服部

【議長】秦 【書記】藤田 【議事録署名人】秦、森下、日野

### 【議題】

#### 〔Ⅰ〕審議事項

まず始めに、本日体調不良にて欠席となった服部(議長・会長)に変わり、秦(副会長)が議長にあたる事について藤田(副会長)より提案があった。

全会一致で承認された。

#### 〔Ⅱ〕報告事項

1. 入退会の報告(藤田総務部長)2019.1/31以降、2019.3/3まで

・入会者 0名

・退会者 1名(東田茂 理由:国保における受領委任手数料が掛かってしまうため)

・1/31 現在の会員数 242 名(正会員 233 名、学生会員 9 名)

2. みなし決議案(藤田総務部長)

・みなし決議(会費値上げについて:服部)

・みなし決議(会費値上げを実行した場合の講習会等の参加費無料化:服部)

以上について、2/22 にて承認済

3. 会務報告(藤田、秦)

・2/20 第 7 回業務執行理事会について(藤田)

会費見直しについての確認、平成 30 年度県内各養成校卒業式出席者、次年度の事業計画について話し合われた事が報告された。

・会費値上げについて(藤田)

別紙(会員への郵送物)参照の上、理事会共有の通り周知を進めている事が報告された。

栗田財務部長より、会費値上げについてクレームや強い要求が出る可能性もあり、協力体制を作る事が重要との意見が挙げられた。会員から挙げた意見や要求は、理事MLで挙げて共有し、藤田総務部長を中心に回答していく事とした。

#### 4. 各部報告

別紙報告書および口頭にて以下の各部報告がされた。

##### (1) 総務部

・平成 31 年度自主勉強会について(藤田)

前回の理事会にて承認された通り、[かながわ古典研究会](森下元会員主催)、[サイゼミヤ](萱間洋平会員主催、石川家明会員オブザーバー)の 2 つについて(当会事業ではなく)自主勉強会として進めている旨の報告があった。

日程は、[かながわ古典研究会]は偶数月第 1 水曜日 19-21 時、[サイゼミヤ]は第 4 水曜日 20-22 時に決まり、その周知については、藤田より 3 月郵送物で案内する事となった。

##### (2) 財務部(栗田)

・決算にて支払いがあるものについては、24 日までに財務部まで連絡がほしい旨が伝えられた。

##### (3) 学術部

・2 月 24 日学術講習会報告(草山・藤田)

参加者数 16 名、内容はエンドオブライフケア協会ファシリテーター木内亜紀先生(看護師)をお招きし、在宅医療や看取りにおける関わり方についてご教示いただいた。全ての医療者が知るべき内容であり、更に多くの参加者に聞いてもらいたかった事が報告された。

・平成 31 年度東鍼会共催診察学について(藤田)

東鍼会と協議し、昨年度まで 60,000 円であった共催費(諸経費除く)について、他の共催同様 20,000 円の共催費にて了承された旨が報告された。

・6 月 16 日第 1 回学術講習会について(草山・藤田)

現在、キャンノンラグビークラブヘッドトレーナー菅原亘氏(トレーナー、鍼灸師)に内諾をいただき、その他東大病院鍼灸部門主任粕谷大智氏(あはき師、心身健康科学博士)に打診している事が報告された(補足:後日の講師との相談より、第 1 回学術講習会は菅原氏に 2 講座を依頼し、粕谷氏には 12 月の学術講習会でご登壇いただく事となった。)

##### (4) 保険部

・2 月 7 日、初の国保指導会について(長野)

今回初めてという事もあったが 8 時間掛かった。今後、慣れるに従い時間は短くなると考えるが、部員増員、部員や事務員の負担軽減についての対応の協議が必要との報告があった。

また、協会健保についても業務整理が必要と考えている旨の報告があった。

・2 月 24 日関東ブロック保険部会議(当会事務所)について(長野)

受領委任の話しが挙がり、新たな内容もあったため、この件については ML や郵送物を通じて

会員へ案内する事が報告された。

#### (5)組織共済部

・業団説明会について(清水、林)

県内各学校において3校が終了し、残りは1校である事が報告された。今回は、他部署に協力を得て資料作成が行われた事が報告された。

・第1回組織共済委員会について(清水、林)

2月25日に開催され、業団説明会の準備や相談をした事が報告された。

#### (6)広報部

・会報について(萱間)

現在作成中であり、出来るだけ早い完成を目指したい旨が報告された。

#### (7)普及部

・ビブスについて(小泉)

前回の理事会にて(服部より)提案し承認されたビブスについて、現在見積りを請求中であり、併せてレイアウト、色も検討中である事が報告された。

・小田原尊徳マラソンについて(小泉)

3月10日開催予定で、現在のところ、7名(内2名学生)の応募がされている。

理事より交通費についての質問がされた。

小田原尊徳マラソンは手伝っている形にし(弁当のみ支給)、横浜マラソン・湘南国際マラソンは当会事業にしているので参加者に手当(交通費含)が支給されている。

栗田財務部長より、整合性がなくなっており整理も必要との意見が挙げられた。

日野監事より、一覧表を作成し、理事会の検討課題とする事が必要との意見が挙げられた。

以上より、次年度については全体一覧作成の上、現状の整理と整合性を持たせる提案を、普及部より行う事となった。

#### (8)危機管理委員会

・平成31年度災害医療研修会について(秦)

9月8日の日程にて進めている旨の報告があった。

藤田学術統括より、第4回理事会でも挙げた事であるが平成30年度は本研修会と学術講習会(新人研修)が近接の日程になった事より、その次の年度は事前に相談いただくよう要望があった。なお、総務部としても全体のバランスより保険部事業(研修会・講習会)と同一月を避ける、普及部事業の一つであるマラソン行事とスポーツ関連学術行事を連動させた日程を草案している事が併せて報告され、全体への考慮が示唆された。

・マニュアルについて(秦)

現この指とまれプロジェクト(31 年度自主勉強会)[サイゼミヤ]にてマニュアルを作り始め、来年 3 月を目処に完成を目指したい旨が報告された。

#### 4. その他

・服部会長の体調について(長野)

2 月 24 日の関東ブロック保険部会議懇親会中に倒れ、そのまま救急車にて脳神経センター搬送され、当日夜服部会長より一過性脳虚血発作(TIA)であったとの連絡があった旨が報告された。退院は 4 日である旨が報告された。

補足: 藤田副会長より、2 月 24 日当日に長野保険部長より倒れた旨の連絡をいただき、当会では藤田を窓口としましは業務執行理事内への共有、併せて家族への連絡の依頼(指示)、その後、医師より詳細は家族以外伝えられないが大事無い旨、家族とも連絡が取れた旨が長野保険部長より連絡され帰宅するとの連絡を受けた事が報告された。

心配させないために理事(ML)には挙げていなかったが、会長より理事MLにて一言があったため、詳細を理事に早く伝えるべきであったとの陳謝がされた。

秦副会長より、服部会長より個別に連絡があった旨の報告がされた。内容は、重要な局面である本理事会を欠席する事について申し訳ない旨と理事の決定を支持する旨の内容が伝えられた。

・事務局人事について(藤田)

事務局吉田氏より、事務局退社の意向が挙がっている旨が報告された。但し、完全な退社ではなく、まずは木曜日を終了とし火曜日だけの勤務を希望している旨、後任者に引き継ぎをしていく意向がある旨が報告された。

また、後任者について、業務執行理事を中心に後任者を選定している旨の報告があり、今回改めて理事へも後任者候補について適任者がいれば提案してもらいたい旨が伝えられた。

なお、後任者については、現在は日に一人体制での事務業務であるため、信頼できる方への声掛けとし、まずはクローズドな選定が伝えられた。

### 〔Ⅲ〕審議事項

#### 1. 各部より

##### (1) 総務部

各部及び当会事業計画について

・財務部(栗田): 別紙を基に報告された。来年度は黒字化の可能性が高いとの補足説明がされた。

・学術部(草山・藤田): 別紙を基に報告された。31 年度は新学術部体制(部長・副部長へ業務委譲)を考慮し、6 月からの開始とし、学術講習会 4 回、イブニングセミナー4 回、また学術講習会の範囲で新人研修を1回開催する事が補足説明された。

・保険部(長野): 別紙を基に報告された。なお、指導会は主に毎月第 3 水曜日、県内国保は主に毎月第 2 木曜日を中心に行う事が補足報告された。

関東ブロック保険部会議については、甲信越が入った事もあり今は未定となっている事が補足説明された。

- ・組織共済部(清水・林):別紙を基に報告された。概ね例年同様の活動である旨が説明された。  
なお、会のリーフレットについて、現在古い内容のままとなっているため、今後、予算案、内容案を提案し、再度作成したい旨が報告された。
- ・広報部(萱間):別紙を基に報告された。また、各部の活動を機能的に発信したい旨が補足説明された。
- ・普及部(小泉):別紙を基に報告された。その他、横浜マラソン前に7団体での研修会が検討に挙がっている旨が報告された。また、7月11日に横浜マラソンのイベントが臨港パークで開催予定である旨も報告された。
- ・危機管理委員会(秦):口頭にて、9月に災害医療研修会を予定している旨が報告された。また、救急救命講習については、現在検討中である旨が報告された。
- ・総務部(藤田):各部からの事業計画を基に別紙の通り年間予定表を作成した旨が報告され、加えて、月ごとの当会全体のフローが分かるように各部の活動を作成したい旨が提案された。  
以上の事業計画について、全会一致で承認された。  
また、藤田総務部長提案、各部のフローについても全会一致で承認された。  
今後は、事業計画案(書式)に沿った資料を藤田総務部長が作成、また、各部フローを記載する書式については近日理事へ送付する旨が伝えられた。

(2)財務部:今回特に無し

(3)学術部

- ・学術講習会・イブニングセミナー部員手当について(藤田)  
別紙を基に提案された。  
全会一致で承認された。  
なお、学術部に限らず全ての部署にて報告書に従い、委員手当、交通費実費にて財務部より振り込むとした。
- ・財団生涯研修登録料廃止について(藤田)  
別紙を基に提案された。  
全会一致で承認された。なお、原則は行事の際に表彰の上手渡しとするが、郵送の場合も郵送費はいただかない事で承認された。
- ・他県師会参加費について(藤田)  
別紙を基に提案された。  
全会一致で承認された。なお、本件については藤田学術統括より、各県に周知する事となった。

(4)保険部

- ・県内国保指導会時の弁当支給について(長野)  
別紙を基に提案された。  
全会一致で承認された。なお、経費支給に関しては、領収書にて実費分を支給する事とした。  
また、その他の諸経費も含めて、経費規定について次回以降の理事会にて総務部から提案する事となった。

(5)組織共済部

・糟谷氏の再入会について(清水・林)

経緯について、平成 15 年に入会、退会理由は不明にて平成 22 年再入会、その後平成 28 年、28 年に 2 度の会費未納があり平成 29 年度総会で退会を承認した経緯がある旨、また、事務局より度々催促をした旨の経緯が説明された。その後、平成 30 年 12 月末に再々入会申込書が届いた状況であり、対応について、以下の 2 つの案より審議する事となった。1. 入会拒否、2. 支払後に審査をする。

本ケースについて、1. 入会拒否にて通知する旨が賛成多数で承認された。

なお、今後については、まず支払を促した上で、その後支払いが無い場合、理事会で協議する旨の原理原則に則る事が共有された。

(6)広報部

・メールマガジン発行について(萱間)

別紙を基に提案がされた。

全会一致で承認された。

藤田副会長より、月 1 度の発行との事にて、無理無い活動が続けるため、月 1 が難しくなった場合は、理事会で相談する旨が伝えられた。

(7)普及部:今回特に無し

(8)その他:今回特に無し

[IV]その他

藤田副会長/総務部長より、理事会にて開始時間が遅くなり、また、冗長になっている旨、そのため重要案件の決議に時間が掛けられていない現状について、陳謝の旨が伝えられた。

次回、平成31年度第1回理事会開催:5/6(月祝) 18:00-20:00

場所:公益社団法人 神奈川県鍼灸師会 事務所にて

以上で、すべての審議を終了し、理事会は閉会した。(作成:総務部長藤田)

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事および監事は記名押印する。

平成31年3月3日

代表理事

印

監事

印

監事

印